

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公開番号】特開2008-29190(P2008-29190A)

【公開日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2007-160586(P2007-160586)

【国際特許分類】

H 0 2 K 53/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 53/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月20日(2010.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

固定盤の中央部分に固定磁石芯が回転盤軸と若干異なる位置になるように半円形状で同一周囲が同磁極からなる固定磁石を取り付けた固定盤、

固定盤の中央部分に略楕円形状で同一周囲が同一磁極からなるの固定磁石を取り付けた固定盤、

固定盤の中央部分に台形状で同一周囲が同一磁極からなる固定磁石を取り付けた固定盤、
固定盤の中央部分に角形状で同一周囲が同一磁極からなる固定磁石を取り付けた固定盤、
又は固定盤の中央部分に同形同大である円形状の固定磁石を複数個同一磁極同士を互いに接合して同一周囲が同一磁極からなる構成で均等に並べて取り付けた固定盤の何れかの固定盤と、

固定磁石の外側にあって回転盤軸と回転磁石芯が若干異なる位置になるように 4 分の 1 程度切り落とした略 C 字型で中央から左右は互いに異なる磁極からなる回転磁石を取り付けた回転盤を前記固定盤に回転可能に取り付けた回転盤からなることを特徴とする磁気駆動装置における磁石の配置方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上記の課題を解決するために、回転磁石を取付け中央に回転盤軸を備えた回転盤と、固定磁石を取付け中央に前記回転盤軸を回転可能に取り付けることで回転盤と連結される固定盤とからなり、前記回転磁石及び固定磁石の配置関係により磁気駆動を可能とした駆動装置における磁石の配置方法及び磁気駆動装置の構成とした。例えば、固定盤の中央部分に固定磁石芯が回転盤軸と若干異なる位置になるように半円形状で同一周囲が同磁極からなる固定磁石を取り付けた固定盤、固定盤の中央部分に略楕円形状で同一周囲が同一磁極からなるの固定磁石を取り付けた固定盤、固定盤の中央部分に台形状で同一周囲が同一磁極からなる固定磁石を取り付けた固定盤、固定盤の中央部分に角形状で同一周

囲が同一磁極からなる固定磁石を取り付けた固定盤、又は固定盤の中央部分に同形同大である円形状の固定磁石を複数個同一磁極同士を互いに接合して同一周囲が同一磁極からなる構成で均等に並べて取り付けた固定盤の何れかの固定盤と、固定磁石の外側にあって回転盤軸と回転磁石芯が若干異なる位置になるように4分の1程度切り落とした略C字型で中央から左右は互いに異なる磁極からなる回転磁石を取り付けた回転盤を前記固定盤に回転可能に取り付けた回転盤からなることを特徴とする磁気駆動装置における磁石の配置方法の構成とした。